

## 復活日（聖書協会共同訳）

全能の神よ、あなたは独りのみ子を死からよみがえらせ、永遠の命の門を開いてくださいました。どうか、み子の復活を祝うわたしたちを、聖霊によって罪の死から命によみがえらせてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。**アーメン**

## 旧約聖書 イザヤ書 25章6～9節

25:6 万軍の主はこの山で、すべての民のために祝宴を催される。それは脂の乗った肉の祝宴、熟成したぶどう酒の祝宴。髓の多い脂身と、よく濾されて熟成したぶどう酒。7 主はこの山で、すべての民の顔を覆うベールと、すべての国民にかぶせられている覆いを破り、8 死を永遠に?み込んでくださる。主なる神はすべての顔から涙を拭い、その民の恥をすべての地から消し去ってくださる。確かに、主は語られた。9 その日には、人は言う。見よ、この方こそ私たちの神。私たちはこの方を待ち望んでいた。この方は私たちを救ってください。この方こそ私たちが待ち望んでいた主。その救いに喜び躍ろう。

## 詩 編 第118編14-17、22-24節

- 14 主はわたしの力、わたしの歌 // 神こそわたしの救い  
15 喜びと勝利の叫びが正しい人の天幕にある // 「主の右の手は力を示す  
16 神の右の手は高く上がり // その右の手は力を示す」  
17 わたしは生き長らえて死ぬことなく // 主のみ業を告げ知らせよう  
22 家造りの捨てた石が // 隅のかしら石となった  
23 これは主のみ業 // 人の目には不思議なこと  
24 今日こそ主が造られた日 // この日とともに喜び祝おう

## 使徒書 使徒言行録 10章34～43節

10:34 そこで、ペトロは口を開きこう言った。「神は人を分け隔てなさないことが、よく分かりました。35 どの民族の人であっても、神を畏れて正しいことを行う人は、神に受

け入れられるのです。36 神は、イエス・キリストを通して御言葉をイスラエルの子らに送り、平和を告げ知らせてくださいました。このイエス・キリストこそ、すべての人の主です。37 あなたがたは、ヨハネが洗礼(バプテスマ)を宣べ伝えた後に、ガリラヤから始まってユダヤ全土に起きた出来事をご存じでしょう。38 つまり、ナザレのイエスのことです。神はこの方に聖霊と力を注がれました。イエスは、方々を巡り歩いて善い行いをなし、悪魔に苦しめられている人たちをすべて癒やされたのです。それは、神が共におられたからです。39 私たちは、イエスがユダヤの地方とエルサレムでなさったことすべての証人です。人々はイエスを木に掛けて殺しましたが、40 神はこのイエスを三日目に復活させ、人々の前に現してくださいました。41 しかし、それは民全体に対してではなく、前もって神に選ばれた証人、つまり、イエスが死者の中から復活された後、食事を共にした私たちに対してです。42 そしてイエスは、ご自分が生きている者と死んだ者との審判者として神から定められた者であることを、民に宣べ伝え、力強く証しするようにと、私たちにお命じになりました。43 イエスについては、預言者も皆、この方を信じる者は誰でもその名によって罪の赦しが受けられる、と証ししています。」

## 福音書 マルコによる福音書 16章1～8節

16:1 安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香料を買った。2 そして、週の初めの日、朝ごく早く、日の出とともに墓に行った。3 そして、「誰が墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。4 ところが、目を上げて見ると、あれほど大きな石がすでに転がしてあった。5 墓の中に入ると、白い衣を着た若者が右手に座っているのが見えたので、女たちはひどく驚いた。6 若者は言った。「驚くことはない。十字架につけられたナザレのイエスを捜しているのだろうが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。7 さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる。』」8 彼女たちは、墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた。そして、誰にも何も言わなかった。恐ろしかったからである。